

＜学校教育目標＞自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

め の と



3月 弥生
桃の花号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和4年3月1日 文責 校長：松田伊知郎

＜めざす児童像＞

- ① あてを立ててすすんで学ぶ子
- ② そみをもってたくましく生きる子
- ③ もだちとみがきあう思いやりのある子



3月5日は二十四節気の『啓蟄』にあたります。土の中の生き物もむくむくと動き出す頃です。そう言えば、つい先日までは朝から氷が張るほどの冷え込みだったのに、いつの間にか朝の明るさも日中の温かさも一段と増してきたように感じます。希望の春の訪れです。

～ 風邪症状や体調不良での登校はできません ～

「まん延防止等重点措置」解除は未定ですが、長崎市内の状況はよくなっているとはいえ、予断を許さない様相が続いています。行動制限も『当分の間』続いていることから、本校でも警戒を緩めずに締めくくりの教育活動を進めています。

2月の本校は「インフルエンザ」の流行はなく、「感染性胃腸炎（嘔吐下痢症）」は単発に発生しています。また、最近は「花粉症」も多くなってきました。これらは、発熱を伴わなくても腹痛や咳、鼻水などの『風邪症状』が出るため、新型コロナウイルス感染によるものとの見分けがつきにくく、自己申告だけでは不安が残ります。そこで、仮に花粉症であっても、既に薬等をお持ちであれば処方を、なければ早めの受診・治療をしていただき、体調不良のままの登校がないようにお願いします。体調不良のままでは集中できずに学習も進まないことから、登校後は早退の連絡を取らせていただきますので、御了承ください。繰り返しになりますが、子供本人が年度末の卒業や修了の日を笑顔で迎えるためにも、御家庭でも健康な心身を培う「早寝・早起き・朝ごはん」と「健康観察」、よろしくお願いします。

～ 心の成長を体現してくれています ～



2月末のある朝、地域の方から嬉しいお話が舞い込みました。こんな内容のお話でした。

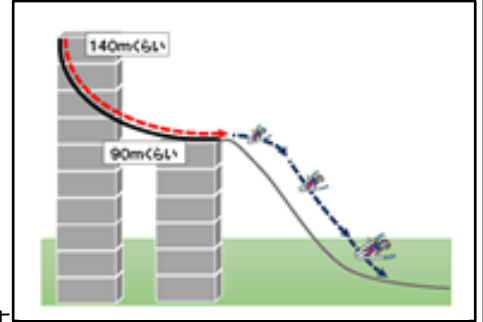
『先日、北公園の草花の手入れを自分がしていたら、そこにいた2人の4年生女兒が「私たちに手伝えることはないですか？」と声をかけてくれ、気持ちよく作業を手伝ってくれました。とても嬉しかったのでみんなに知らせて褒めてあげてください。』

以前も他の子供たちの行為を紹介したことがありますが、こんな心温まるニュースは何度あってもいいです。世の中では、ディスタンスを常に考えたり行動制限がなされたりする生活において、子供たちの教育や成長は大丈夫なのかという疑問の声が少なからずあります。学校関係者も、地域や保護者の皆様も、不安な中にも「子供の成長が妨げられることがあってはならない」という強い思いを共有し、そのための努力をしています。そんな中に、こんなに心豊かに育っている子供の姿を知ることができたことは本当に嬉しいです。2人の行為は、たくさんの人の勇気や希望になり、更に「にこにこわくわく」が広がっていくことでしょう。

～ 向かい風を力に、より大きく成長しよう ～

<3月1日の全校集会（リモート）での校長講話から>

冬季オリンピックが終わりましたが、「スキージャンプ競技」を観ることができましたか？ ジャンプ競技は、この校舎を縦に10個積み上げたくらいの高さのジャンプ台の上から、両足に着けたスキー板だけで滑り下り、残りの「校舎6個分」くらいの高さを今度は空を飛んでいき、着地までの飛んだ距離と跳び方などを点数にして競う競技です。人が飛行機のように空を飛んでいく、というのはびっくりです。



ここで、「風」についての〇×クイズです。

「より遠くまで飛べる風は、自分の後ろから吹いてくる追い風である。」

さあ、〇、×、どちらでしょうか。

答えは×

追い風に乗ると遠くまで飛べる気がしますが、実は自分の前の方から吹いてくる「向かい風」を受けるとふわりと浮いて、より遠くまで飛ぶことができます。でも、飛ぶ人は自分に都合のいい風を選んで飛べませんので、タイミングや姿勢を工夫しながら自分の力で飛んでいきます。すごいですね。

さて、皆さんのこれまでの生活の中では、いいことや楽しいことがたくさんあったでしょう。このように順調に物事が進むことを「追い風が吹く」という言葉で表します。逆に、何かをしようと思ってもうまくいかなかったこともあったと思います。これは「逆風（向かい風）が吹いている」と言います。追い風は楽で、向かい風は苦しいことが多いものです。私たちの生活は、自分にとっていいことも悪いことも、いい時も悪い時もあります。いい時はミスに気を付けながら自分の力で成功する体験を積み上げてください。悪い時は周りの人に相談などをしながら挑戦してみてください。向かい風に立ち向かっていくと、頑張っている自分の力を周囲の力が支えてより大きな力となり、もっと先の成長した自分まで飛んでいけるはずですよ。

今の学年で登校する日数は、今日を入れて、1～4年生16日、5年生17日、6年生13日です。これまでにやれたことだけでなく、やれていないことや次の学年のことなどにも挑戦することで、ジャンプをより大きなものにして、学年最後の日により遠くへ着地することができるようにしてください。

～ いじめは許しません ～

育友会による「女の都小 いじめ防止標語コンテスト」の代理表彰を全校集会で行いました。

校長賞

1年 原田ひかる さん

みんなあるあるいいところ いっぱい見つけて なかよしだ

育友会長賞

5年 金子錫 さん

やめようよ 自分がされたら いやなこと

笑顔の女の都賞

5年 水間凌吾 さん

「だいじょうぶ？」 その一言で 救われる

校舎1階廊下に、他の作品と一緒に掲示してあります。上記の入賞者作品もそれ以外の作品も、標語としての出来もいいのですが、「いじめをしない」「いじめをさせない」「いじめを見逃さない」ということや「もっと仲良くなろう」という皆さんの気持ちが伝わってきて、とても頼もしく、心強く感じました。